

# 岐阜大学 キャリア支援部門 ニュース

2015.10 No.9

URL <http://www1.gifu-u.ac.jp/~career/>

## 巻頭言

### 「キャリア支援部門」ってなに？

松居 正樹

教育推進・学生支援機構  
キャリア支援部門長

「キャリア支援部門」って聞いたことありますか？  
何をしているところか知ってますか？  
すべて学生さんの支援のための3つの仕事をしています。



#### 1. キャリア支援

在学中に自分の将来の進路について考えます。そのために、主に学部学生さんにボランティアやインターンシップの情報を提供します。また、OB・OG等へのアンケートを基に、本学のキャリア教育を充実させていきます。

#### 2. 就職支援

主に4年生、修士2年生に対して就職情報を提供します。前・後学期を通して、毎水曜日の午後15時に「就職ガイダンス」を開催しています。就職情報は各学部集まります。各学部、学科には就職担当の教員が居ます。その先生方と自分の進路を相談する前に、就職についての基礎的な情報をここから得てください。また、各学部や研究科での就職がうまくいかない時は、「キャリア支援部門」に相談に来てみてください。切り口の違うアドバイスが役に立つかも知れません。

#### 3. 博士後期学生用プログラムの実施

これまでのイノベーション創出若手人材養成センターが、キャリア部門に統合されました。イノベーションプログラムでは、エンライトメントレクチャー、実践英語、アイデアトレーニングキャンプ、インターンシップを行います。それぞれ、専門家による博士後期課程の学生として知っておくべき分野の知識、英語でのプレゼンテクニック、着想のヒント、就職に直結する可能性のある学外研修を行います。

岐阜大学のHPの「進路・就職」にも大体の仕事が掲載されています。生協に食事に行ったり、本を買ったりしたついでに1階の「キャリア支援部門」に寄ってみてください。

学部や学年を超えて、何かのヒントにめぐり会うかも知れません。

### 平成27年度キャリア支援部門の日程

4月6日	イノベーション創出若手人材養成プログラム開講（～7月27日）
5月20日	就職活動支援ガイダンス開始
6月5日	基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の募集
6月10日	プロジェクト型インターンシップ（GULIP）ガイダンス開始
8月11日	卒業生アンケート実施
9月16日	就職ガイドブック2015年版の発行
10月16日	イノベーション創出若手人材養成部会FD 「コンソーシアム構築による博士人材育成」
10月19日	イノベーション創出若手人材養成事業の事後評価ヒアリング
10月31日	先輩社会人との交流会
11月19日	キャリア支援部門FD「これまでとこれからのキャリア形成！」
10月及び3月	キャリア支援部門ニュースの発行

原則として毎月第1金曜日に岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門会議及びイノベーション創出若手人材養成部会会議を開催

## 報告 | GULIP体験を振り返って

森井 鴻介

GULIPアイガ・イエスチーム  
工学部応用化学科4年

6ヶ月一貫して私が最も意識したことはリーダーシップを発揮することです。

私達のチームは企業からAndroidアプリ作成の課題が与えられました。活動開始時は雰囲気が高く、全員の意見を聞き出すことに苦労しました。そこで私は「笑顔で話すこと」、「ニックネームで呼ぶこと」を提案し、みんなで取り組みました。その結果、チームの雰囲気が明るくなり、意見がたくさん出るようになりました。

しかし3ヶ月経過した時に、チームで唯一のプログラマーが脱退してしまい、その結果メンバーのやる気が一気になくなってしまいました。そこで私は沈滞した空気の中で明るく元気に声掛けをしてみんなを励まし、鼓舞しました。さらに私達は率先して企業にプログラミングの授業を開いてもらえるように依頼をし、アプリの製作方法を学びに行きました、そして最終的には全8チーム中最高評価を頂くことができました。6ヶ月GULIPを通じて思わぬ展開でもリーダーシップを発揮する対応力が身につきました。

最後に自分たちのミーティングやプレゼンテーションをあたたく見守って下さった株式会社アイガの皆様、株式会社イエスの皆様、岐阜大学キャリアセンターの廣瀬准教授、斉藤様を初めとした岐阜大学のGULIP関係者の職員である皆様、そして6ヶ月間共に最後まで奮闘してくれた、我がチームメンバーおよびGULIP二期生の皆様に感謝申し上げます。



最終成果発表の様子

### キャリア形成の自主的活動

## 報告 | 学生ボラネットの活動紹介

岩田 知之

学生ボラネット  
工学部社会基盤工学科2年

学生ボラネットは、学生のボランティア活動に関する相談、受付等を行っています。主にコーディネータの石川さんと学生スタッフで運営しています。窓口の場所は岐阜大学会館キャリアセンターで、開室日は原則毎週水曜日、木曜日、金曜日の12:30~16:45です。ボラネット窓口だけではなくメールマガジンやFacebookや



学生ボラネットのミーティング

Twitterでもボランティア情報を提供しています。また、約1か月に1度ボランティアツアーを行っています。学生スタッフとともにボランティア活動に参加する形式をとっており気軽に参加していただけます。

大学生活を充実させる活動として部活動やサークル、アルバイトなどが挙げられますがその中の一つにボランティア活動があります。ボランティア活動では子どもをはじめあらゆる年代の方、地域の方々と交流することができます。中には自身や社会に対して課題を見つける方もいるでしょう。学生ボラネットは岐阜大学生の学生生活の充実、最終目標として学生の成長を掲げて活動しています。お気軽に窓口立ち寄りください。

## 教師として生きる

吉田 政直

教育学部 昭和48年卒業

私は教育学部を卒業後、定年退職までの38年間、教師として生きてきました。退職後、かつて教育学部があった長良公園に行き「師魂」と刻まれた石碑を見たとき、改めて「ここで学んだから今の自分がある」と母校岐阜大学を強く意識しました。

現在では、教師としての実践的な力を育成しようと、早い時期から教育現場に出かけていますが、私の在学時は4年の小学校4週間、中学校2週間の教育実習が現場での実践的な学びでした。実習期間中、どういう状況だったか定かではありませんが、「授業の導入、展開等を先生から学ぶことも大切だが、もっと大切なことは、実習校の先生が教師という職業ではなく、教師としてどう生きてみえるか学ぶことだ」と、研究室の指導教官に諭していただいたことを、今でも鮮明に覚えています。

「教師という職業ではなく、生き方を」の教えは、教頭、校長になるにつれ大きくなってきました。どんなに時代が変わろうと、子供を豊かに育て能力を引き出すことができるのは、教師という人間にかかっています。子供への深い愛情がある、授業へのひたむきな情熱がある、教師としての誇りや使命感がある、そんな教師が必要とされています。

退職しても地域の会合に出れば「吉田先生、どう思われますか…」などと、教師としての振る舞いを人々はみえています。一生涯教師なのだと気付かされます。



## 私は社会でこう生きてきた

北島 康雄

木沢記念病院 院長



私は医学部卒業後1年間小児科臨床研修後、岐阜大医学部生化学教室で6年間病原真菌の細胞膜と壁、テキサス大学細胞生物学教室で単細胞生物の細胞膜の研究を2年間して「Cell Biol, BBA 等国際誌に19編（内第一著者10編）を発表し、細胞生物学者としてのトレーニングを受けた後、皮膚科医になった。つまり。これまでに無い視点（細胞生物学）で皮膚疾患を研究し、岐大教授になり、日本皮膚科学会副理事長、日本研究皮膚科学会理事長になり、科研費S, Aの審査員も勤めた。つまり医学/科学者であった。しかし、岐大病院長を勤め、岐大に日本最初の電子カルテ化と日本最大規模の救急センターを作った。日本で最初の時間外手当を医師に支払うシステムも作った。定年後翌日木沢記念病院で院長代理、2年後から病院長を務めている。現在も日本で病院として最初の経営改善システムを作っている。問題を誰も実行したことの無い方法で解決することにチャレンジすることが楽しみであり、自分の人生であり、現在もチャレンジしている。

## 常にアグレッシブな取り組みと提案

堀尾 義矩

工学部工業化学科 昭和37年卒業

卒業研究で指導頂いた平林芳夫先生の勤めで地元を離れ、横浜の当時は食油業界2位の日清製油(株)(現在日清オイリオグループ(株)に就職。研究所、工場、営業、海外駐在など多岐な分野担当を経て、技術出身の経営トップ役員(常務取締役)の一員として十数年間、国内事業、海外事業など担当、業界第1位企業(東証1部)への成長に細やかであるが貢献出来たと思っている。

私の仕事に対する原点は卒論の1年、平林先生の教え「与えられたテーマに対し全力での取り組み」にあり、加えて入社後は常にそれぞれの立場でアグレッシブな取り組みと責任を持った具体的な提案を地道に続けたことが成果に結びついたと思っている。具体例では多岐分野の経験と技術出身役員の強みを発揮し、生産・販売・技術を合わせた「横断的な提案型販売」を組織化し、国内に加え海外事業でも活用、東アジアでそれらをベースにした現地との合弁会社3社を立ち上げ、現在も好業績をあげている。

退任後は現役同様な精神で遺伝子組み換えの基礎研究中心の農業生物資源研究所(独法・つくば)で唯一の民間出身の役員として民間同様な内部統制を、その後は地元の市の外部評価委員などで民間視点での業績評価を、また岐阜大学に対しては工業倶楽部関東支部長として些かであるが貢献している。

今後とも初心を忘れず、常に責任を持ってアグレッシブに行動していく事にしている。





## イノベーション創出若手人材養成プログラムの紹介

坂口 菜朋子

教育推進・学生支援機構特任教授

キャリア支援部門では平成27年度より、博士後期課程学生およびポストドクターを対象とした「イノベーション創出若手人材養成プログラム」を実施しています。このプログラムでは自分の専門分野以外に、産業界等のニーズを踏まえた発想や、幅広い視野を身につけることが目的です。昨年度まで「イノベーション創出若手人材養成センター」で実施してきたプログラムです。

エンライトメント・レクチャー（多業種の企業のリーダーによる講義）

ビジネス英語（ネイティブによる英語プレゼンテーションの講義・演習）

アイデア・トレーニング・キャンプ

（異分野の参加者間の議論を通じて、問題発掘・解決能力を養う集中講義）

を前期に実施し、工学・連合農学研究科より延べ30名の博士後期課程学生が参加しました（そのうち留学生は約半数でした）。プログラムを受講した学生からは毎年、「視野が広がった」「異なる研究室・研究科の友人ができた」との感想が聞かれます。上の3つのプログラムは博士後期課程在籍者・ポストドクターであればどなたでも履修できます。次年度の皆さんの参加をお待ちしております！

講義についての最新情報はキャリア支援部門HPをご覧ください。

<https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/career/innovation/program.html>



プログラムの参加学生

## Introduction of "Young Researchers Education Program for Innovation"

The Career Formation Support Division (CFSD) started the "Young Researchers Education Program for Innovation" from April 2015.

The aim of this program is that PhD students or postdoctoral researchers acquire the ideas according to the needs of the real worlds such as local industries and gain the global and wide range of view. We did three programs below during April to July.

1. "Enlightenment Lecture" by the leaders in various fields of companies etc.
2. "Business English", lectures and practices by the native.
3. "Idea Training Camp", which aims to cultivate the ability to find and solve the problem through group discussion among students in different research fields.

Total of 30 students from Graduate School of Engineering and the United Graduate School of Agricultural Science joined to these programs, and nearly half of participants were international students. This program will be good chance to make new friends and broaden of your view. You can register any of three programs mentioned above if you are in doctoral course (1st to 3rd grade) or postdoctoral researchers, even if you are government-sponsored foreign students or adult graduate students. We are looking forward to meet you in next years program!

Please check updates about our program in:

<https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/career/innovation/program.html>

キャリア支援部門ニュース編集委員

委員長・松居 正樹  
(キャリア支援部門長)

委員・坂口 菜朋子  
(教育推進・学生支援機構特任教授)

委員・金森 敏  
(教育推進・学生支援機構特任准教授)

委員・酒光 伸嘉  
(学生支援課課長補佐・就職支援室長)

委員・五味 進司  
(キャリア支援部門事務担当)

岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

キャリアセンター

058-293-3393

career@gifu-u.ac.jp

就職支援室

058-293-2147・3362

job@gifu-u.ac.jp